

【2017 女子学院中学校 算数 講評】

花まるラボ関係者にも何故か出身の知人・友人の多い女子学院です。
毎年女子学院は難関校受験に求められる単元の本質的な理解を、無理なく問う良問が多いことで知られていますが、今年もその通りでした。

その象徴たる問題が大問4、6です。

特に大問4は「6時間しか現せない円時計」を使っている点でユニークで、一般的な時計算の公式に頼らず、その本質的な理解を無理なく求めています。